

政友会 市川 哲夫 議員



- ①文化行政について
- ②街路灯の運営実態
- ③農業政策について

質問① 鈴鹿市の文化行政の中で本市の指定文化財及び文化財保護の実態についてお聞かせ頂きたい。尚、重要文化財として見送られている三宅町の夢想国師についてどのように見ているかも伺いたい。

答弁① 文化財を守り伝えていくために行政は指定登録し適切な保護、管理措置をとり、保存のための助言や補助を行っていく。夢想国師の指定文化財については、国師の業績は偉大でもあることから、古文書等の地元資料収集も含め、説が明確になれば指定の方向

も考えられないことはない。

質問② 街路灯の運営について安全面と費用負担あるいは照明維持管理の実態はいかに。

答弁② 街路灯は道路照明灯、集落における防犯灯また、商店街が設置する街路灯に分かれ、いずれも安全確保のために設置されているが、費用負担はそれぞれ異なる。街路灯は鈴鹿市商業団体連合会の組織のもと、設置や修繕は一部補助の対象となる。

質問③ 農業政策について、(1)バイオエネルギー(2)基盤整備についての考えを問う。

答弁③ 代替エネルギーとしてだけでなく地球温暖化防止、環境面等、農業生産の在り方について重視していきたいと考えている。

あくていぶ21 矢野 仁志 議員



- ①鈴鹿市のシティセールスについて
- ②鈴鹿市の防犯に関する安全安心について
- ③災害時及び救急について

質問① 現在、鈴鹿サーキットや椿神社などの特定資源に依存しているが、鈴鹿墨や伊勢型紙などの販売状況は。ほかにも在来作物の再発掘はどうなっているのか。バルーンフェスティバルは、協賛者が少なく残念で、参加者も少なくPR不足では。

答弁① 既存の観光資源の活性化を始め、イベント型観光の方向性を伸ばし、地域一体となった観光振興を考えることを方向性として掲げ、鈴鹿市観光まちづくり委員会を立ち上げ、具体的に検討している。

質問② 箕田・長太地区をはじめ廃止交番が多く住民は大変不安である。県に対し増員を要望したい。

答弁② 交番活動と、自主防犯活動団体等の取り組みで、犯罪を起こさせにくい環境づくりを進めることができると考える。

質問③ 幼稚園における災害救急対応や災害マニュアルの有無、災害訓練状況、備蓄に関して現状は。

答弁③ 災害救急対応は、まず職員が応急手当をし、保護者へ連絡、病院への搬送や救急車の要請ができるようにしている。応急手当は、全職員が対応できるように受講の指導をしている。危機管理マニュアルを職員間で周知徹底を図っている。避難訓練は、学期に1回程度実施している。非常食の備蓄はない。

すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- ①鈴鹿市シティセールス戦略について
 - (1)戦略作成の過程について
 - (2)すずかブランド・シティ・セールスの推進について
 - (3)観光まちづくりについて

質問①(1) 本年7月にまとめられていた「すずかブランドときめき戦略」は、どのように作られたか。

答弁①(1) 若手職員13名から成る検討ワーキンググループを設置し、15ヶ月16回のワーキングをもって、庁内会議、商工会議所等とも意見交換して作成した。

質問①(2) 仙台市のシティセールス戦略のように、具体的なプランや、数値目標を掲げた方が部局間連携も明確になると考えるが、どのように推進していくのか。

答弁①(2) 庁内の情報共有・意識づけを行ってきた。第5次総合計画の単位施策に成果指標を設定しているので、この指標をシティセールスの見地から再検討して成果指標の達成に努めていく。

質問①(3) 鈴鹿の歴史的・文化的遺産を観光まちづくりに大いに活かして欲しい。鈴鹿に縁のあるヒト・モノ・を大切に、地域のまちづくり意識と協働して集客交流事業を展開して欲しい。

答弁①(3) 後世に継承していく責任のある文化財は大切にしながら、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりの為に、10月に立ち上げた「鈴鹿市観光まちづくり委員会」を中心に庁内関係各課との連携はもちろん市民のみなさん、民間事業所のみなさんの御協力もお願いしながら進めていく。